2026 年 8 月 5 日
株式会社ＡＤワークスグループ
（東証プライム：2982）

エー・ディー・ワークス、
不動産クラウドファンディング事業開始に必要な許認可を取得

～2026 年 9 月にサービスを開始し、年内に複数ファンドの募集を目指す～

株式会社ＡＤワークスグループ(所在地:東京都千代田区、代表者:代表取締役社長 CEO 田中秀夫)**の子会社で、収益不動産事業を推進する株式会社エー・ディー・ワークス**（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木俊也、以下「ADW」）**は、2026 年 8 月 4 日付で、不動産特定共同事業法の電子取引業務の開始に係る許認可（変更認可）を取得しましたのでお知らせいたします。**

本件により、不動産クラウドファンディング事業の開始に必要な許認可手続きが完了しました。2026 年 9 月を目途にサービス開始を予定しており、年内に複数ファンドの募集を目指します。

１．本件の概要

ADWは、不動産クラウドファンディングサービスの提供開始に向けて、インターネットを通じた投資募集・契約手続き等を行うために必要となる「電子取引業務」の開始に係る変更認可を申請しており、このたび、以下のとおり金融庁長官及び国土交通大臣から認可を受けました。

認可年月日	2026年 8 月 4 日
許可番号	金融庁長官・国土交通大臣　第132号
認可の内容	不動産特定共同事業法第 2 条第 4 項第 1 号及び第 2 号に係る電子取引業務の開始

２．今後のスケジュール

2026年 9 月を目途に、不動産クラウドファンディングサービスサイトの開設及び第 1 号ファンドの募集を開始するべく準備を進めております。サービス提供開始時期・サービス名称・募集予定ファンド等の詳細は、改めてお知らせいたします。

本件に関するお問い合わせ：
株式会社ＡＤワークスグループ　IR 担当
E-mail：ir@re-adworks.com

【ご参考①：ADWの不動産クラウドファンディングサービスの特徴】

ADWは、一棟収益不動産、不動産小口化商品、オフィス区分商品など、顧客需要に合わせて多様な不動産投資商品を展開してまいりました。中でも不動産小口化商品「ARISTO」の運用総額は500億円超に達しています。

不動産クラウドファンディングサービスにおいても、これまで培った収益不動産に関する知見とノウハウを活用することで、信頼感のあるサービス提供を目指します。

ADWが展開を予定するサービスにおける強みは以下の３点です。

① **良質な収益不動産を厳選し、投資商品化：**
年間14,000件以上取得する収益不動産情報の中から、適切な物件を厳選します。

② **物件価値向上から出口まで見据えた運用：**
バリューアップ工事や戦略的なテナントリーシング等を通じて、対象不動産の価値向上を図るとともに、売却（出口）まで見据えた商品設計・運用を行います。

③ **透明性の高い運営体制：**
東証プライム市場上場企業グループとして、コンプライアンス・ガバナンス・情報開示・投資家保護を重視し、透明性の高い事業運営を行います。

〈ADWの不動産商品ラインナップと投資金額規模〉

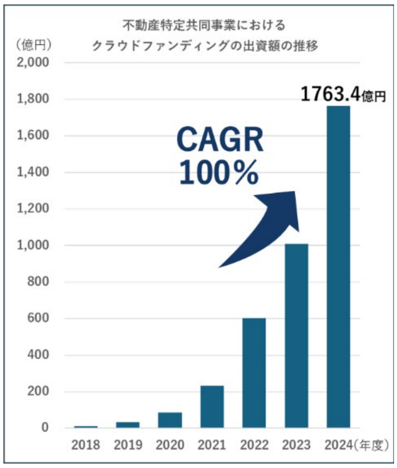
不動産クラウドファンディング	一棟収益不動産	不動産小口化商品	オフィス区分商品
１万円～	10億円～50億円	500万円～	１億円～

【参考②：事業戦略上の意義】

当社グループは、長期ビジョン「富の循環を創出し、誰もが心に火を灯せる社会をつくる」と定量目標「税前利益200億円・BtoCシェア40%」を掲げ、BtoC事業の拡大を推進しています。本事業により、少額から投資可能な商品をラインナップに加え、より幅広い個人投資家層との接点を創出します。

また、不動産クラウドファンディングは、１口１万円といった少額から不動産投資に参加できることや、オンラインで完結する利便性を背景に、市場が拡大してきました（2024年度の出資額：約1,763億円）。ADWは、長年培ってきた既存事業の強みを活かし、成長市場におけるシェア拡大を図ります。

▼国土交通省「不動産特定共同事業の利活用促進ハンドブック（令和７年７月）」より 当社作成



事業開始当初は、ADW自らが物件を組成・提供する形で推進し、運用実績と投資家基盤の蓄積を進めてまいります。将来的には、不動産特定共同事業法に基づく第３号・第４号事業への展開により、ノンアセット型への転換を目指します。これにより、自己資本に過度に依存せず運用資産残高を拡大できる、資本効率の高い事業モデルを構築し、当社グループの中長期的な成長基盤の一つとして育成してまいります。

以上